



妻西中キャラ めにしちゃん

# 学び磨き鍛える

正しい判断力とたくましい実践力を  
もった妻沼西中生を育む学校

発行 熊谷市立妻沼西中学校  
電話 048(588)1361  
FAX 048(589)0496  
令和7年7月17日  
第11号

学校だより

一生懸命やる 一生懸命答える

校長 清水 利浩



修学旅行で、源光庵というお寺で座禅体験をしました。その時、ご住職さんからいただいたお話です。

「私たちは、生きていく上で、いろいろなことが起こるものです。人生には、3つの坂があるといひます。「上り坂」、「下り坂」、そして「まさか」という坂。「まさか」は、得てして悪いことや思ってもいない時の坂です。落ち込むこともあります。そういう時には、心を落ち着かせること

が大切です。その一つの方法に座禅があります。」

「禅の基本は、何ごとにも一生懸命になること。顔を洗うことにも、食事にも、お茶にも作法というものがあります。例えば、食べることは、他の動植物の命をいただいています。ですから「いただきます」と、命をいただくことにありがたさを感じて感謝するのです。座禅の気持ちをふだんの生活にいかすこと、生活に反映させることです。」

「仏法僧という言葉があります。仏は、素直になること。法は、きまりを守ること。僧は、仲良くすることです。これらは、できるようでなかなかできないものです。自分を見据え、自分を探究する。自分のことがわかったら、人の気持ちがわかります。人の気持ちがわかったら、いじめも差別も、争いもなくなるでしょう。自己中心的だから、あつてはならない争いが起こるのです。

「私たちは生きています。仏教では、生かされているといひます。生かされているとは、いろいろな人のお世話になっています。人々に迷惑をかけて生きているのです。皆さん、これから社会に出て、大いに活躍して欲しいです。」

「皆さんは、本日、修学旅行で座禅体験させたいという、保護者の方々や先生方の思いに、しっかりと答えることができました。こうしていただいたご縁に、一生懸命答えると言うことは、社会に出てからもとても大切なことです。一生懸命やることが何よりも大切です。バカ正直にやることによって、必ず得るものがあるのです。」